



一コマ・ストーリー部門優秀賞作者紹介

映介 えいすけ

1990年6月16日生まれ
大阪府在住。大学でビジュアルデザインと立体造形を勉強しています

受賞の言葉

今まで漫画作品の投稿は全くの未経験だったので受賞を知った時はまさか自分が、と受賞の喜びよりも驚きの方が大きかったです。

この作品は「現代の若者たち」をテーマにしています。自分もその若者の一人であり、だからこそ表現出来るような客観性を意識して描きました。この作品を見てくださる方々に何かしら伝わるものがあれば幸いです。

今回の受賞が絵を描き続ける為の意欲と活力になりました。これからも自分らしい表現で描いていきたいと思っています。ありがとうございました。



孫 承衍 Seung Yeon

1986年生まれ
韓国在住の学生

受賞の言葉

アジアの文化を共有するという、このイラスト漫画賞の目的に触発されて応募しました。公けの場で自分の作品を発表するのは初めての機会なので、とても嬉しく、また誇りに感じます。アジアの国々にはそれぞれ固有の習慣があり、私はこれらの文化的背景にとっても興味があります。例えば日本には「侍」という有名な武の文化がありますが、韓国には「ソンビ」という高い志を持った学者・文人階層がいました。

また、昔の韓国では結婚は家同士の取り決めであり、女性が男性より年上だということもあったようです。成熟した女性が、年若い少年を夫として暮らすのはどんな風であったかと想像してみました。夫婦というより、姉弟のような関係だったのではないのでしょうか。

漫画を描くという作業を通じて、単に視覚的イメージや商品を読者に与えるのではなく、私の本当の気持ちや考えを多くの人と分かち合ってコミュニケーションしたいと思っています。



のまあ

名古屋生まれ 昭和58年から62年まで名古屋大学大学院文学研究科研究生

名古屋文理短大の講師、新城大谷大学の教授を経て、現在は愛知県医師会の総合政策研究機構に在職中 専門は心理学 (Ph. D)
マンガによる著書は「JUN＜青春のエチュード＞」日本文化科学社 (平成4年) など

受賞の言葉

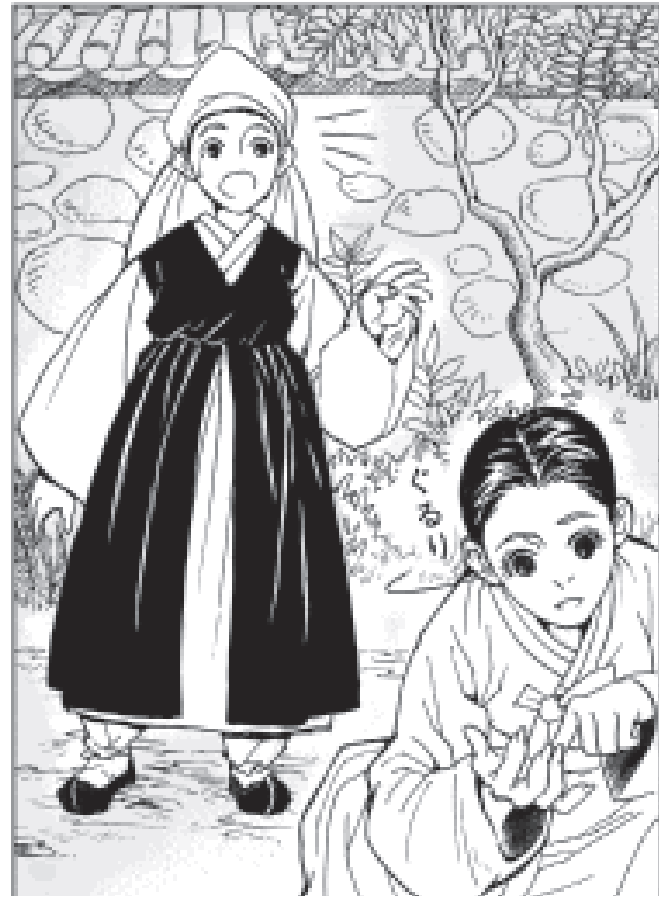
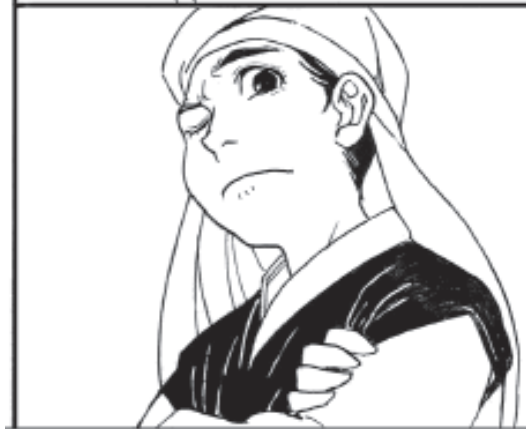
このたびは、優秀賞という素晴らしい評価を与えていただき、誠にありがとうございました。審査員の皆様方に深く感謝致します。

本作品は、児童虐待と多重人格に関わる重いテーマを扱っています。読後に「やるせない」感情を持っていただくことを意図して描きました。もっとも、描いている方も気分は落ち込みます。できれば今後も、このようなテーマを基にマンガを描き続けたいと考えております。改めて、ありがとうございました。





ふ、ふん！
この野良猫
のようなも
のが！
さっさと
行けな
いか？



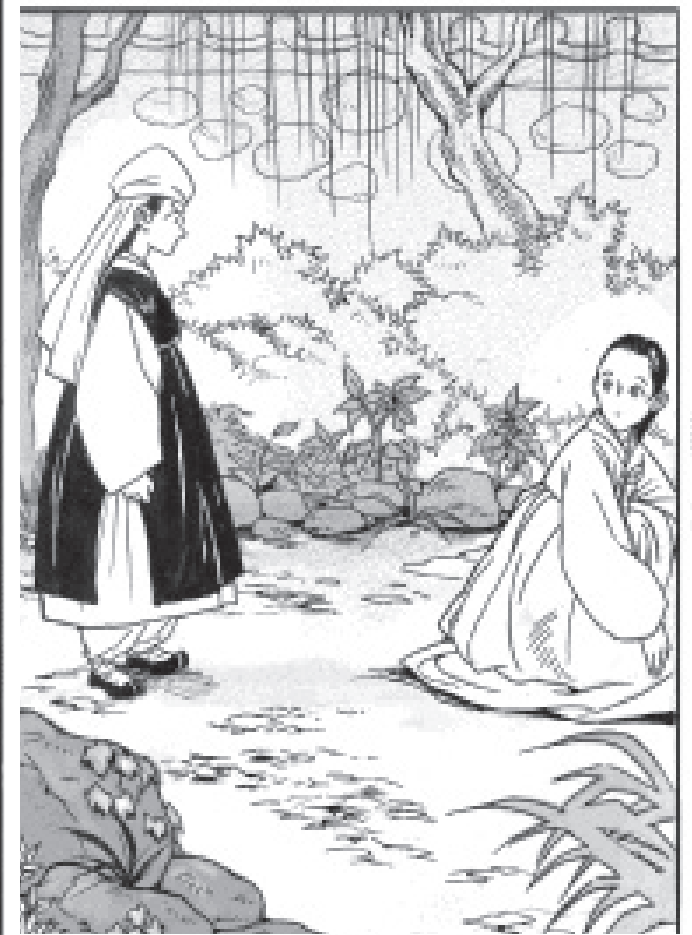
フン

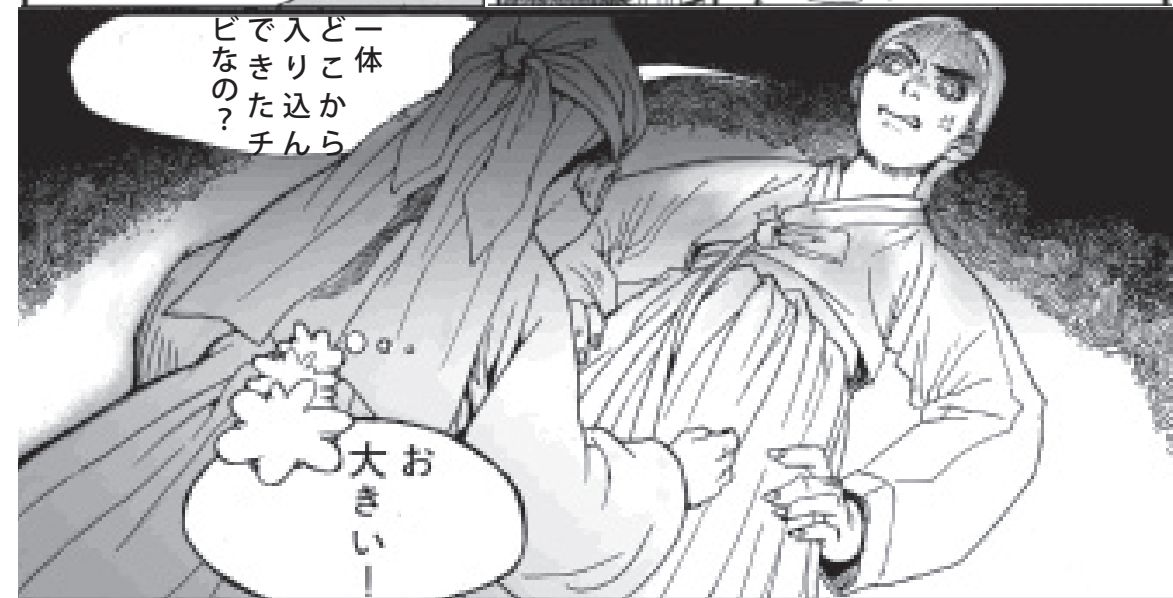
女などが
何の寺小
屋勉強を
すると



誰だ
何を
して
いる？

見たとこ
ろ、許可
もなくこ
っそり：

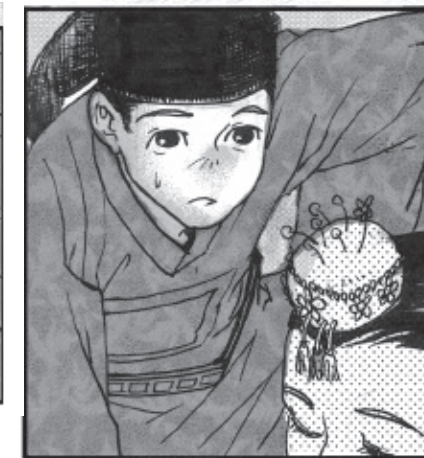
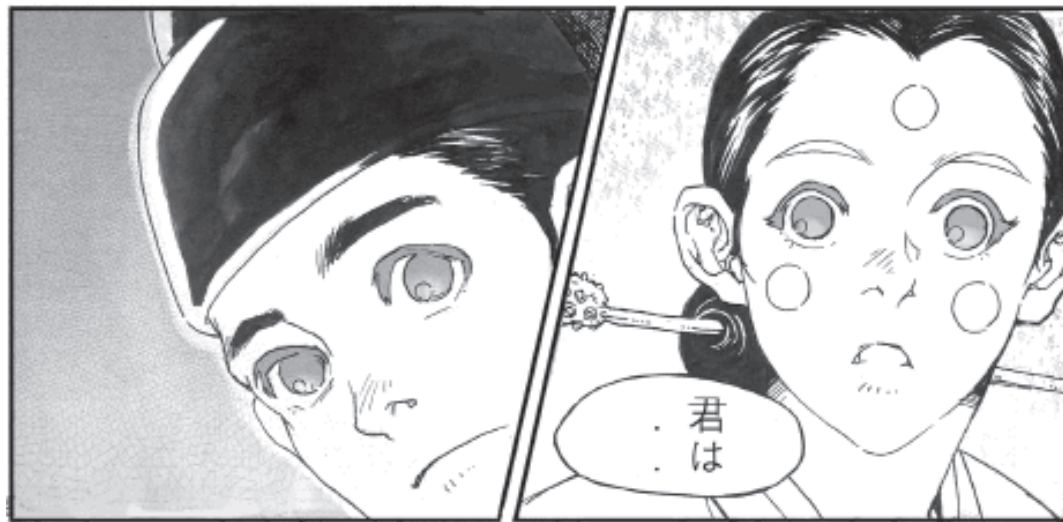
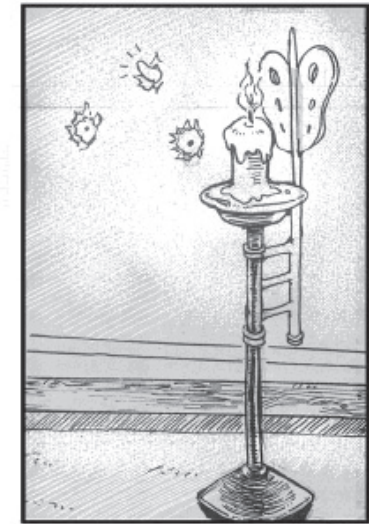
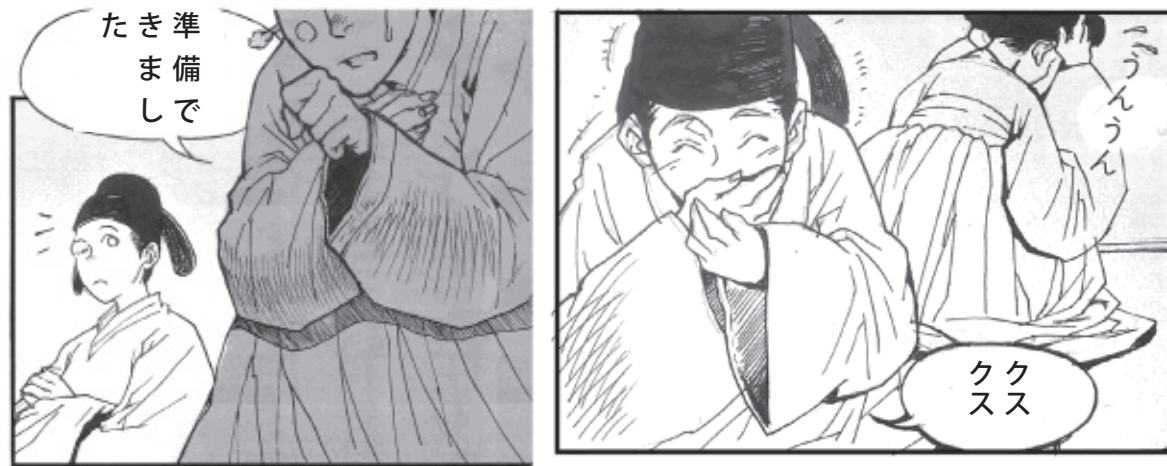


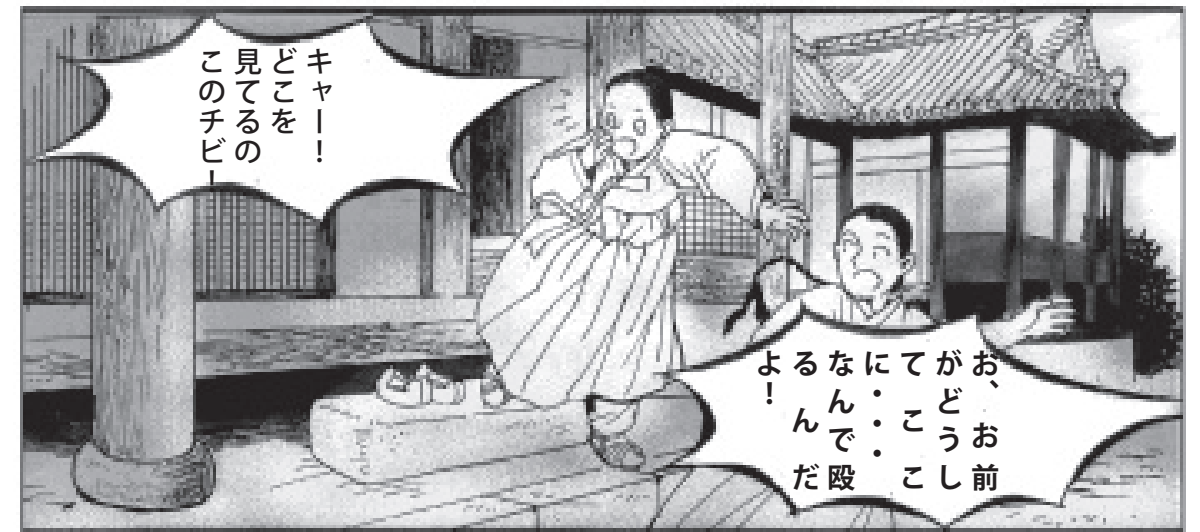


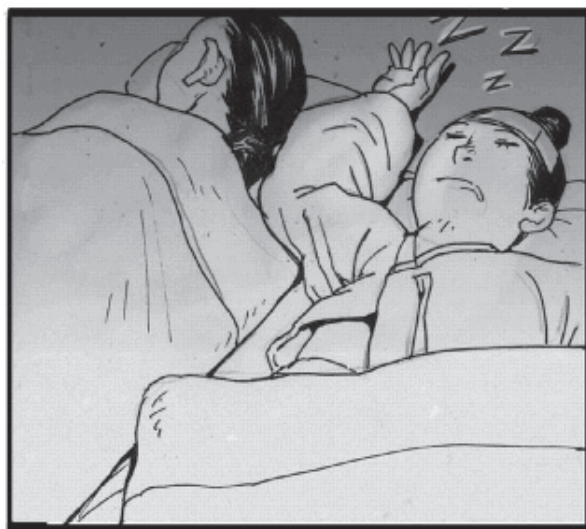
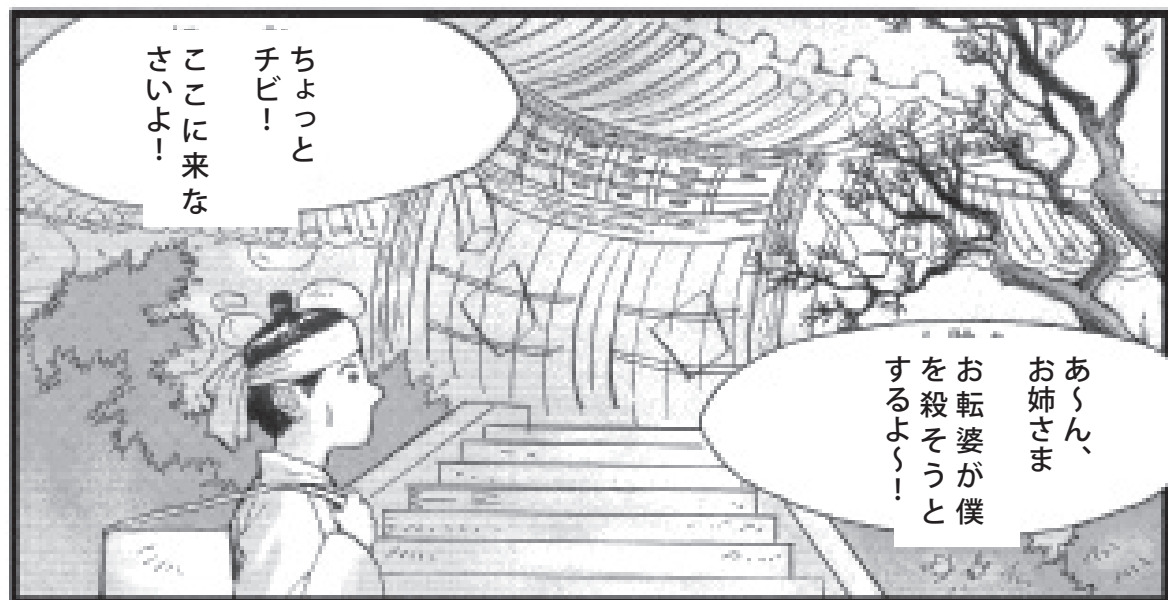


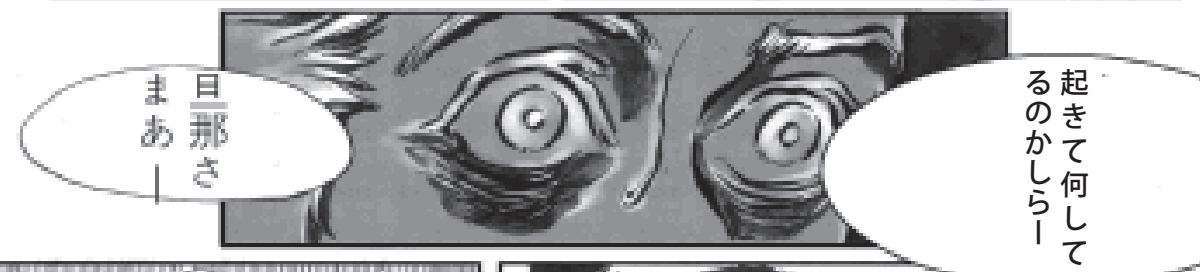
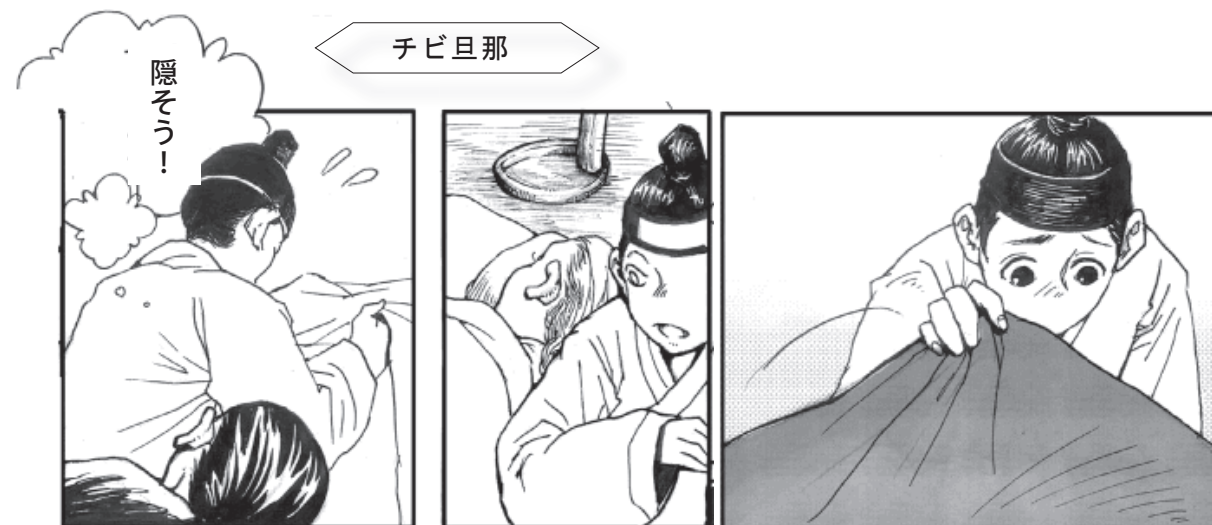
チビ旦那

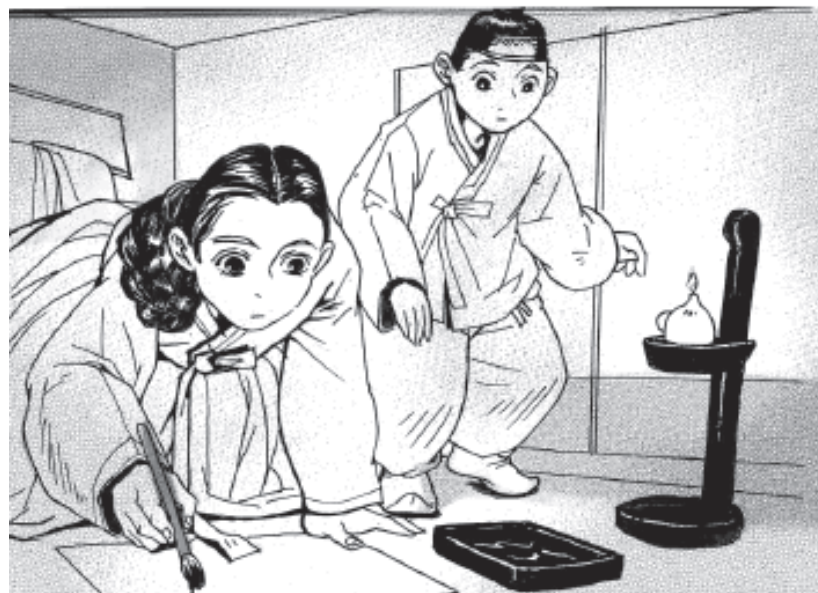








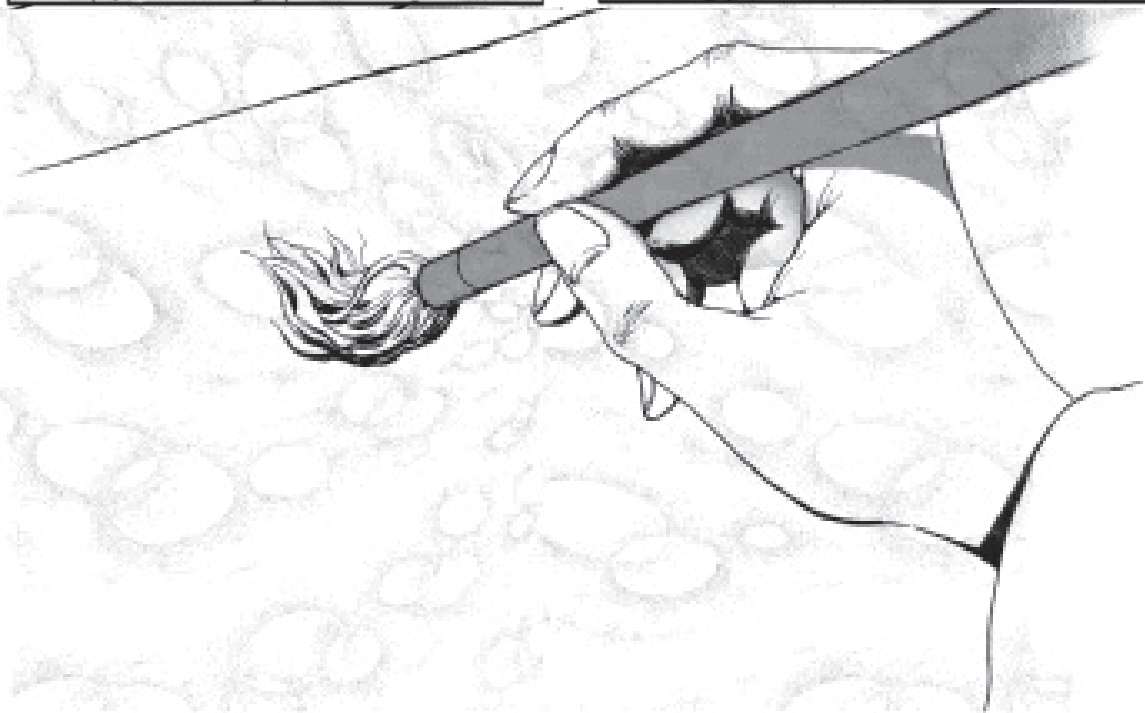




わあ



寝ないで、何してるの？



※韓国では昔、おねしょをした子供に罰として、糞を被せて近所から塩を買いに回らせるという風習があった。



これで、誰にも言わないだろう
塩は台所にあるのに、なぜわざわざ...



簡単よ、
これをかぶって召使
いから塩を受け取っ
てきて



シンウォン
じゃない？
ここで何し
てるの？



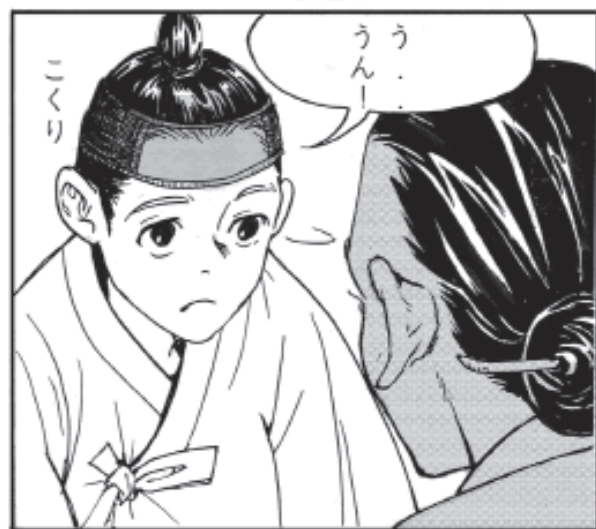
そこ誰か！

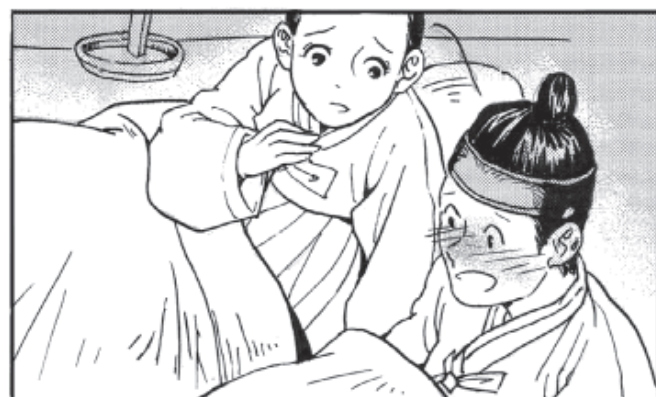
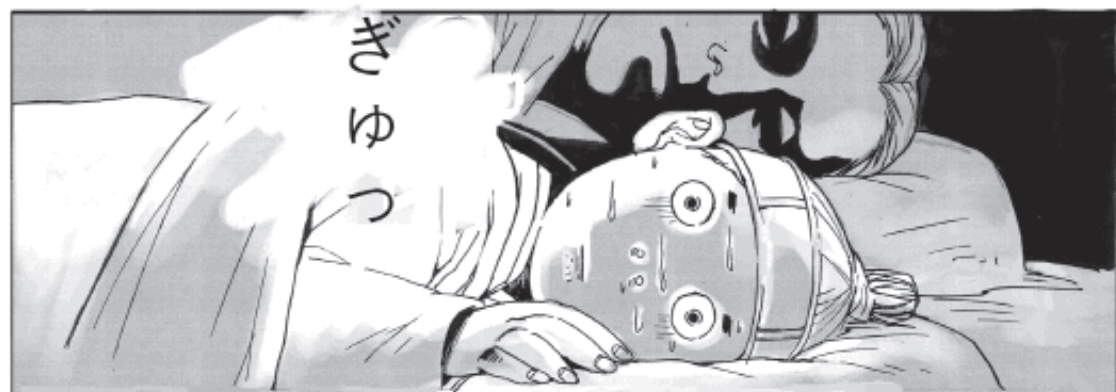
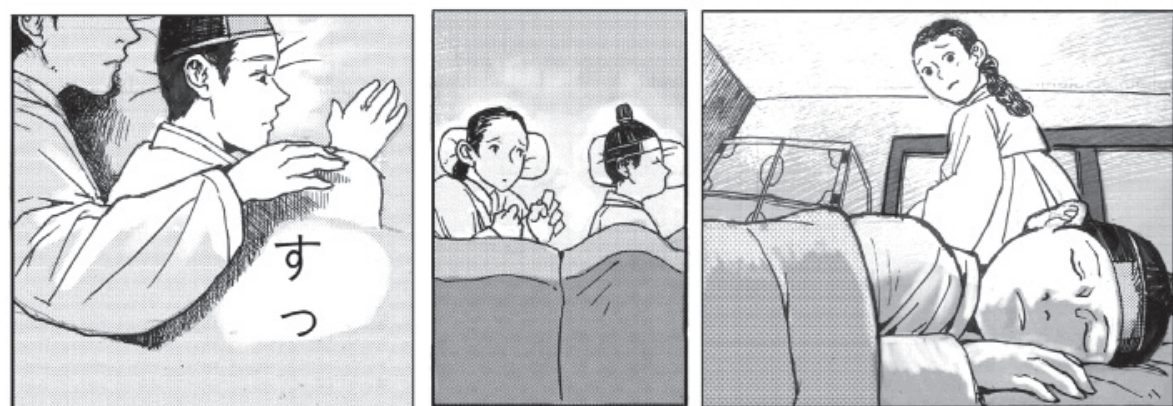


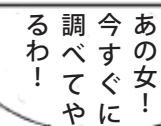
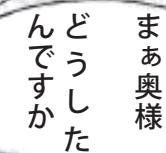
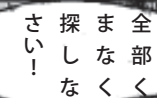
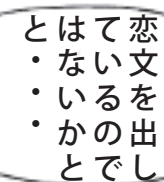
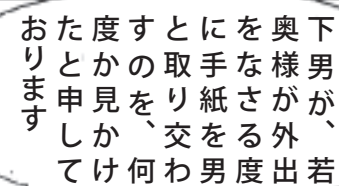
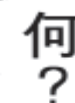
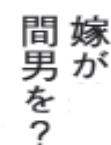
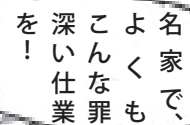
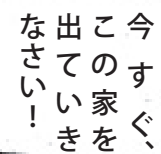
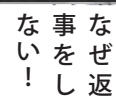
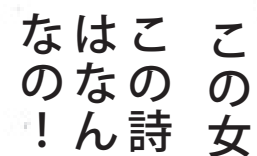
いくら幼い
といっても、
これじゃ
私の息子
の体面が
惨め過ぎ
るね

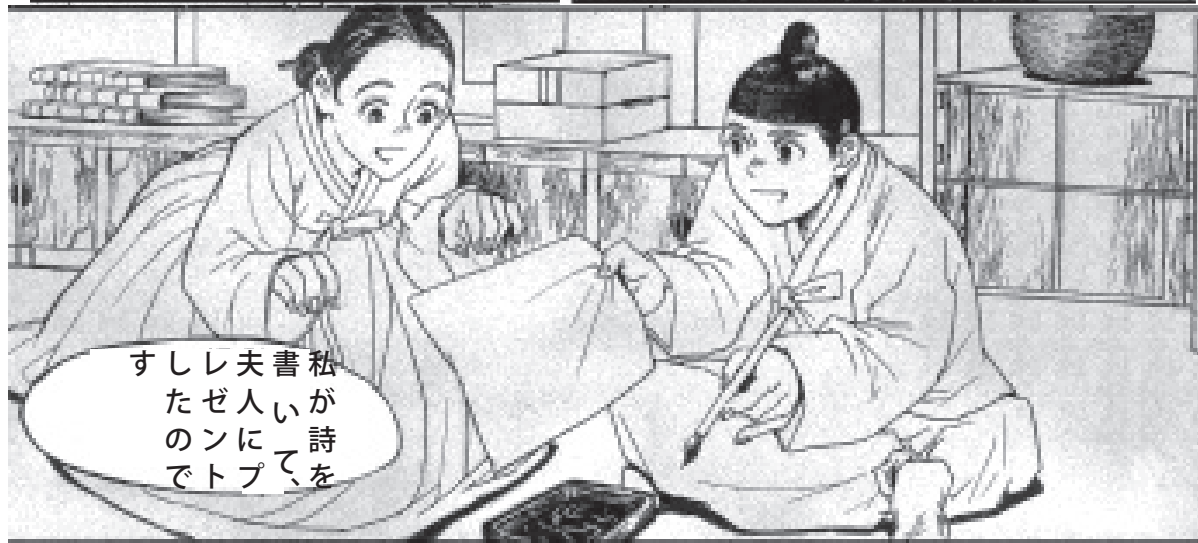
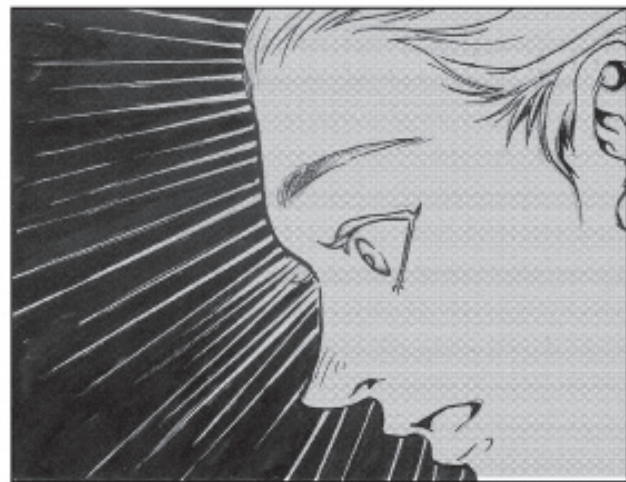


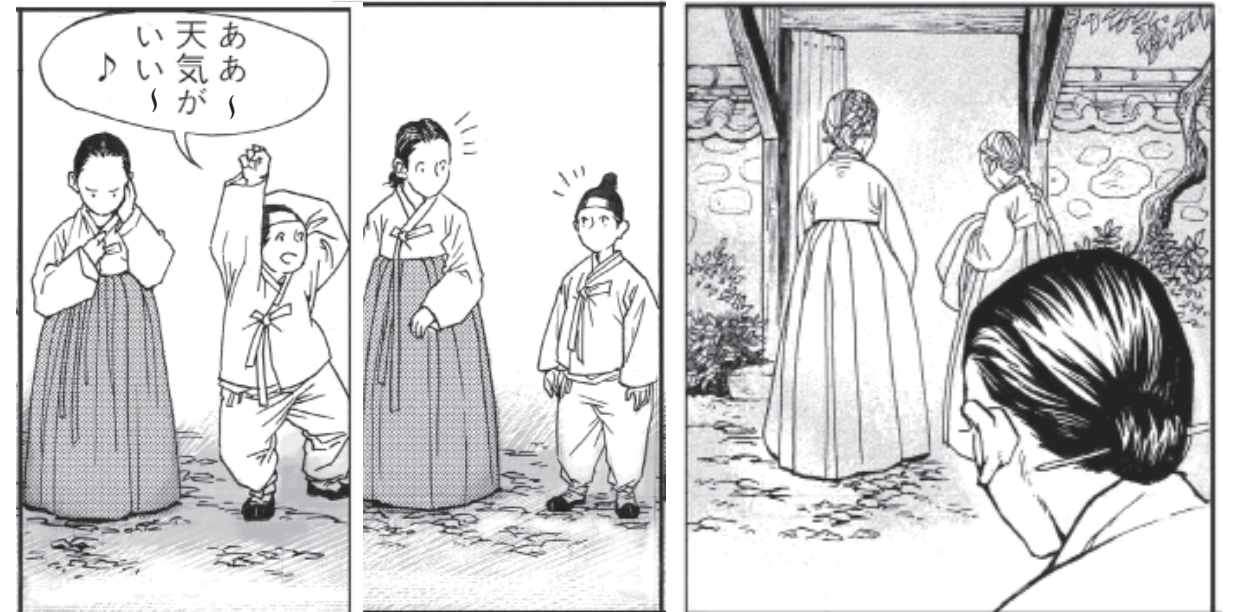
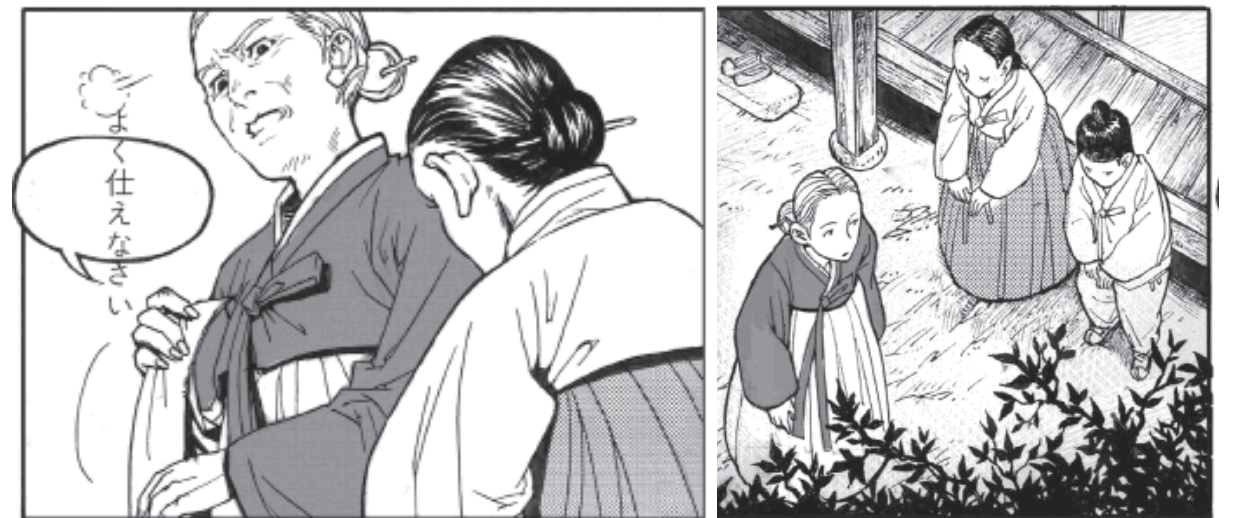
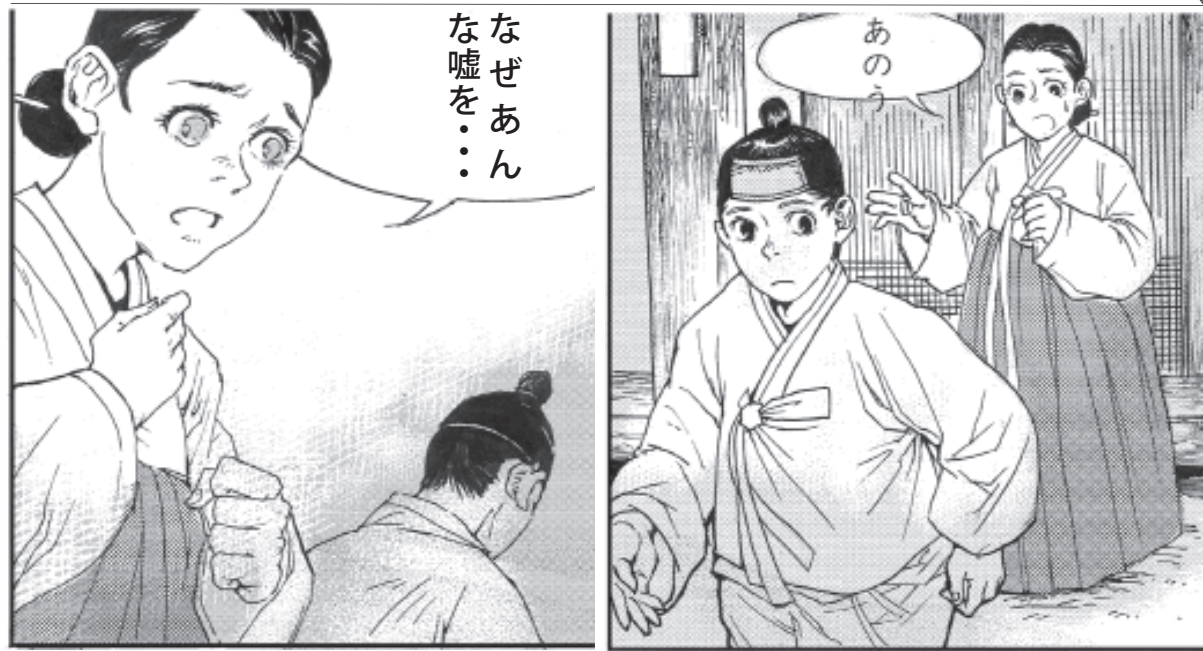
こ、こん
な格好を
お前の妻
がさせて
いるの？











第2回 アジア文化社 イラスト・漫画賞 作品募集

アジア文化社では、斬新なイラスト・漫画作品を募集します。視覚による直接的表現によって内面のエネルギーを解放させ、力ある自己表出を現代世界に呈示することは、時代が求めているビジュアル領域を開拓するものであると信じます。現代社会が共有すべき感性と表現、独自の個性と新鮮な表現のイラスト・漫画作品を期待します。

作品募集要項

主旨●ビジュアル表現による現代文化の一端を開拓する。イラスト、漫画を広く募集し、優れた作品を賞揚する。さらにアジアの文化や生活、体験を共有し、インターネットなどによって作品を広め、共感を深める。もってこの領域の興隆に資する。

募集内容●オリジナルのイラスト・漫画作品。ただしこれまで同人雑誌に発表したものを改作したものも可。挿絵イラスト、表紙絵、1コマ漫画、ストーリー漫画4部門。

応募資格●不問。外国人も応募可能。締切が1ヶ月早くなりましたのでご注意ください。

応募規定●A. イラスト・表紙絵部門 (1) ♥イラスト部門 (雑誌の本文中にイラストとして載せるもの／応募はカラーでもけっこうですが、雑誌に掲載の場合白黒になります／ただしインターネット掲載はカラーとなります) A4サイズ1人2作品以内

(2) ♣表紙絵部門 (本、雑誌の表紙になるもの／カラー。A4サイズ1人1点とする)

B. 漫画・ストーリー部門 (3) ♠一コマ漫画部門 (風刺画またはひとつの意図が表現されているもの／題材は海外でもどこでも何でも可) (4) ◆ストーリー漫画部門 (4コマ漫画も可／ストーリーはA4用紙20枚以内／ギャグ、劇画を問わない)

別紙に①応募部門 (2010年度第1回アジア文化社イラスト・漫画賞○○部門応募作品と明記のこと) ②タイトル (イラストの場合なくてもよい) ③本名およびペンネーム④年齢・生年月日⑤〒住所 (郵便番号のないものは失格) ⑥電話番号⑦職業・略歴⑧メールアドレス (ない場合は「なし」明記) ⑨応募審査料1000円を郵便為替などで同封。外国からは11USドル。※応募原稿は返却しない。(1)(2)(3)(4)ともパソコン出力A4サイズ作品が望ましいが、コピー、写真でもよい (写真の場合は葉書サイズ〜キャビネ判まで)。オリジナル原画は送付不可。メール送信応募不可。

応募先●〒158-0083 東京都世田谷区奥沢7-15-13 アジア文化社 イラスト・漫画賞係

TEL03-5706-7847 FAX03-5706-7848 E-mail asiawave@qk9.so-net.ne.jp

賞●大賞■賞状・トロフィー・賞金5万円 (2名の場合は3万円)

優秀賞■賞状・賞メダル・賞金1万円

奨励賞■賞状・賞メダル 入選■賞状・記念品

選考●アジア文化社編集部 (他の選考委員が加わることもあり)

締切●2010年6月30日 (当日消印有効)

主催●アジア文化社

発表●1次・2次予選通過者は2010年11月末発売の「文芸思潮」42号に発表。

受賞は2011年11月発売の「文芸思潮」43号、およびインターネットに発表・作品掲載。優秀作・奨励賞なども順次インターネットおよび「文芸思潮」に掲載する。

※主催者から 斬新な意匠、心温まる図画、現代を射抜く痛烈な風刺、抱腹絶倒のおもしろさ、線や色や影の深い造形の味わい、痛快無比なストーリーなど現代の人間表現を期待しています。アジアや欧米など外国人の方の応募も歓迎です。

